

平成16年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号)	提案機関名	県央地域農業改良普及センター		
59				
※記入不要				
要望問題 ヤマトイモの総合的な土壌センチュウ防除対策の確立について				
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】				
<p>相模原市・座間市において特産品となっているヤマトイモ栽培では、土壌センチュウによる被害は大幅な収益の減少をもたらすため、複数の土壌消毒剤による防除が不可欠となっている。しかし近年は生産者の高齢化が進み、土壌消毒作業と被覆作業負担が過重となっている。そこで、緑肥作物を含めた輪作体系や、省力的な土壌消毒法等を組み合わせた総合的なヤマトイモの土壌センチュウ防除対策の確立について取り組んでほしい。</p> <p>(栽培面積：相模原市 25ha、座間市 1ha)</p>				
解決希望年限	①1年以内	②2～3年以内	③4～5年以内	④5～10年以内
研究対応区分	①研究所対応	②委託研究	③共同研究	④その他
対応を希望する研究機関名	①農業総合研究所 (②根府川試験場 ③三浦試験場 ④津久井試験場) ⑤畜産研究所 ⑥水産総合研究所 (⑦内水面試験場 ⑧相模湾試験場) ⑨自然環境保全センター			

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業総合研究所						
部 署	農業環境部						
対応区分	①実施	②実施中	③継続検討	④実施済	⑤調査指導対応	⑥現地対応	⑦実施不可
試験研究課題名	(①、②、④の場合)						
対応の内容等	<p>ネコブセンチュウの被害を軽減する拮抗植物につきましては、過去にその効果について報告がされておりますが夏期栽培のものであり、ヤマトイモの栽培と重複してしまいます。一作、作付けを行わずほ場あける等の輪作体系について、現地で行う場合は協力致します。</p> <p>なお、防除についての情報は提供致します。</p>						
解決予定年限	①1年以内	②2～3年以内	③4～5年以内	④5～10年以内			
備考							